

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの施工要領書をお渡しください。

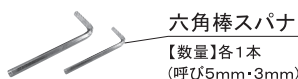
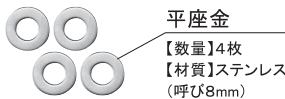
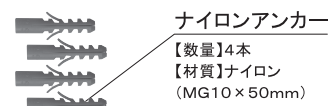
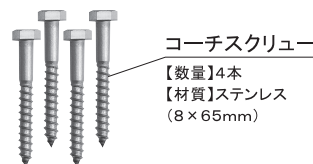
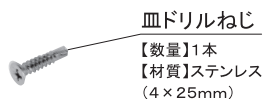


マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

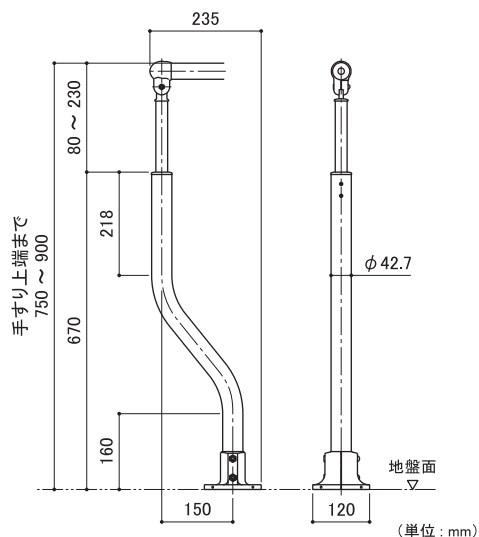
部品明細

施工者用



基本仕様

施工者用



品名：フリーRレール ベースプレート式Sエンド支柱

材質：支柱 / アルミ合金・アルミ型材、ブラケット / アルミ合金

原産国：日本

寸法：図参照

※ 材質の特性と製造の関係上、カーブ部分の内側に小さなシワが入ります。強度に問題はございませんので、あらかじめご了承ください。

❗ ブラケット(支柱)ピッチは下記寸法を必ず守る。

支柱ピッチは上部支柱の芯～芯で計測する。

⚠ 警告

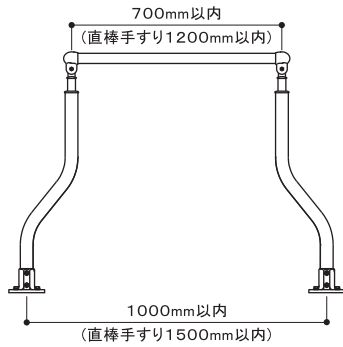
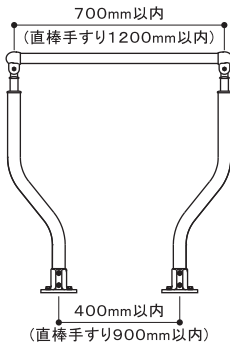
曲がる手すり棒の場合

- ブラケット(支柱)3個以上使い ……800mm以内
- ブラケット(支柱)2個使い(1スパン) ……700mm以内

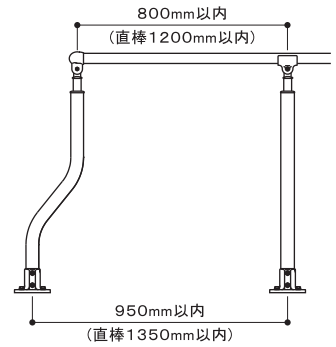
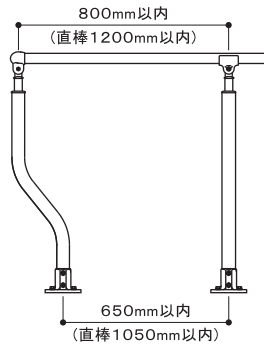
直棒手すりの場合

- 1200mm 以内

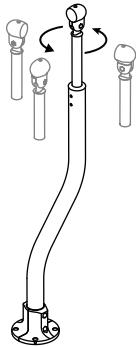
●ブラケット(支柱)2個使い(1スパン)



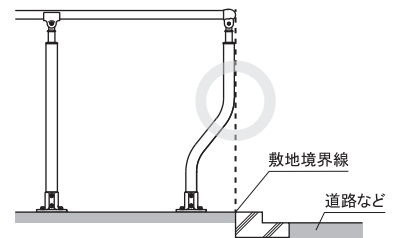
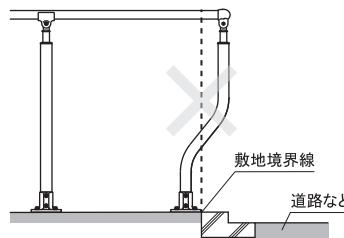
●ブラケット(支柱)3個以上使い



●上部支柱はどの向きを向いても構わない。



⊘ 支柱が敷地境界線を超えてはいけない。



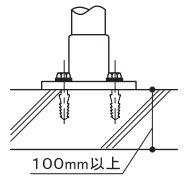
⊘ 手すりをブラケット(支柱)に取付けた状態で手すりを曲げない。

ブラケット(支柱)が破損する原因になる。



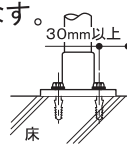
❗ ベースプレート式支柱及び、勾配対応式支柱は床面のコンクリート厚に注意する。

コンクリート厚が100mm以上無い場合は取付けできない。十分な強度がない。

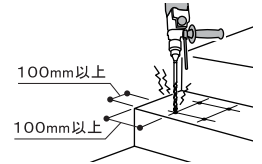


❗ 壁とアンカー位置は30mm以上はなす。

チョークラインは65mm以上(タイル目地に合わせる場合は80mm以上)はなす。壁からアンカーを充分にはなさない場合、十分な強度が出ない場合がある。



❗ へりあき寸法は100mm以上はなす。



⚠ 注意

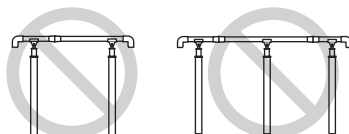
❗ 施工時製品に付着した切り粉は速やかに清掃する。

表面にキズがつき腐食の原因になる。



⊘ ジョイントは最小限の数で取付ける。

手すり棒ジョイントは、手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定尺寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントをしない。

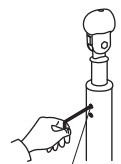


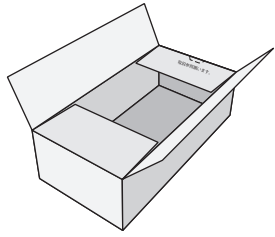
⊘ 支柱及び、ブラケットはコンクリート下地以外に取付けない。

⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め付けない。

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。

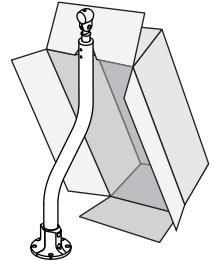
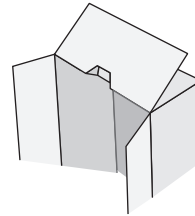
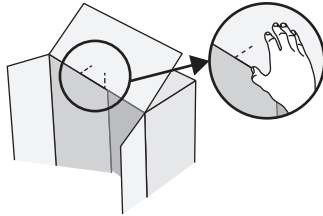
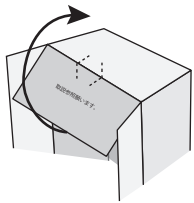
六角穴付き止めねじ





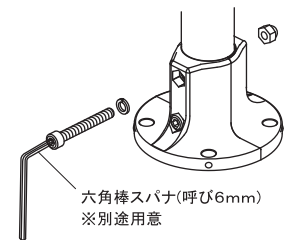
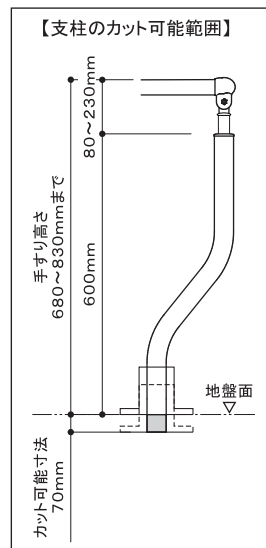
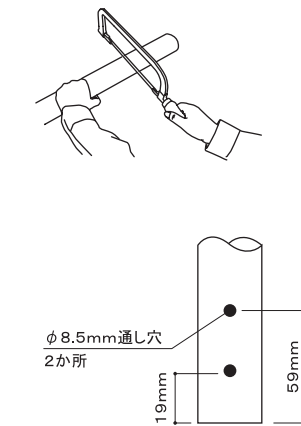
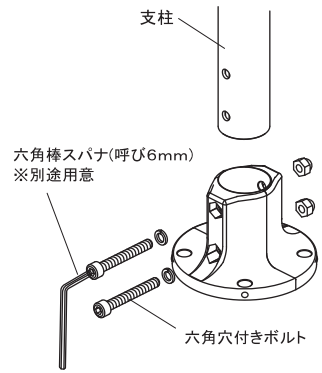
- 梱包箱は、Sエンド支柱の施工時に補助具として活用できます。
- ※ あくまでも施工時の補助具であり、完全に支柱を支持することはできません。支柱が倒れた事による返品は受けかねますので、あらかじめご了承ください。

- ① 梱包箱の文字のある面を開く。
- ② ミシン目に沿って梱包箱を破る。
- ③ 押し込んで、くぼみをつくる。
- ④ 支柱を立て掛ける。



施工手順 支柱のカット方法

- ① 六角棒スパナ(呼び6mm)でベースプレートの穴付きボルトをはずし支柱を抜く。
- ② 金ノコ等で希望の長さにカットし、ベースプレート固定用の穴(φ8.5mm)をあけ直す。
- ③ ベースプレートに支柱を差込み、六角穴付きボルトで固定する。

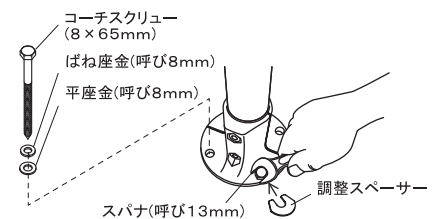
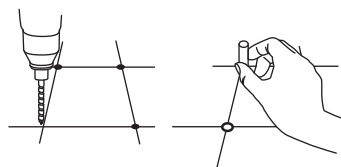
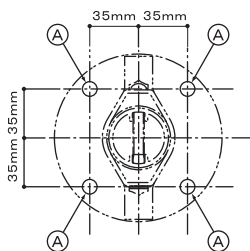


- ❗ 必ず支柱の下面をカットする。
- ❗ 支柱は70mm以上カットしない。

- ❗ ボルトを締め直す時は、締付トルク10N・m以上で締付ける。

施工手順 ベースプレートの固定方法

- ① 設置位置を決め、下図に基づき下穴位置A点を記す。
- ② マーキングしたA点に振動ドリル(φ10mm)にて、深さ55mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーを挿入する。
- ③ ベースプレートを固定する。



- ❗ アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に充分に掃除して削りくずを取り除く。ナイロンアンカーは地面より出ないように挿入する。

水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの中に入れる。対応水勾配は1/50まで。

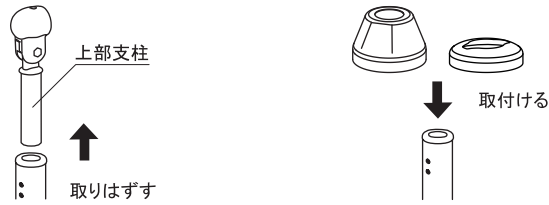
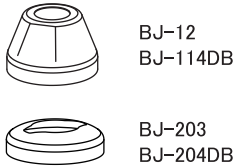
- ❗ 調整スペーサーは1か所につき2枚までとする。ベースプレートが損傷する恐れがある。

施工手順 化粧カバー（別売）の取付方法

施工者用

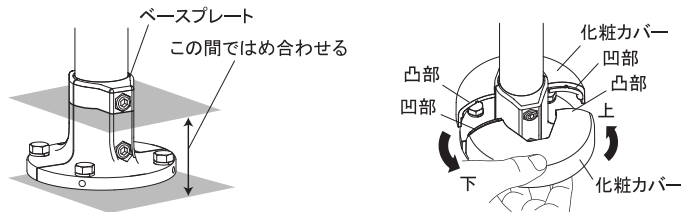
○別売の化粧カバーを使用する場合

化粧カバー



手すり棒を取付ける前に、上部支柱を取りはずして化粧カバーを取付ける。

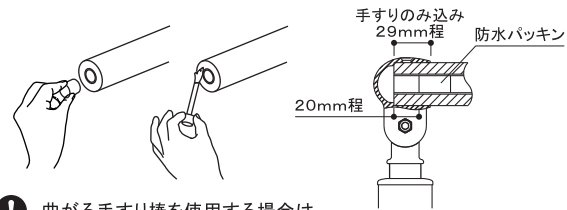
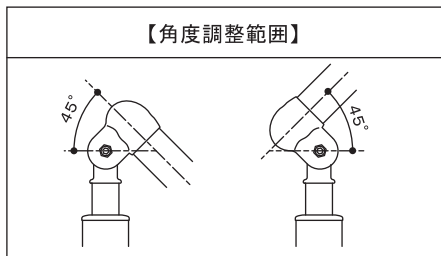
化粧カバー後付け



ベースプレートの上段の六角穴付きボルトよりも下の位置で、形状に合わせて挟み、凸部が上、凹部が下になるように化粧カバーを少し回転させて凸部と凹部をはめ合わせる。

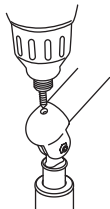
施工手順 手すり棒の固定方法

施工者用

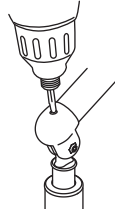


❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

① φ3.3mmの下穴をあける。



② 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。

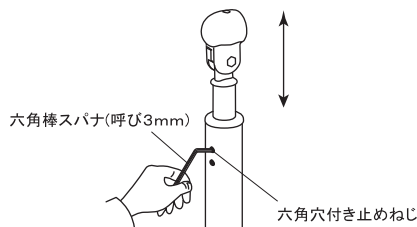


③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定する。



施工手順 高さ調整の固定方法

施工者用



高さを決めて六角穴付き止めねじ(2か所)を固定する。

⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締めない。
支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。